

カラコルム フーシェ谷トレッキング

【天候回復ならず 撤退 帰途へ】

6月7日晴れ 5時起床、撤退 フーシェ村泊

雪は積もっていなかった。下山のためのパッキングをする。

6時にはフーシェからポーターさん達が登ってくる。ラマダンが終わり昨日はお祭りだったらしい。

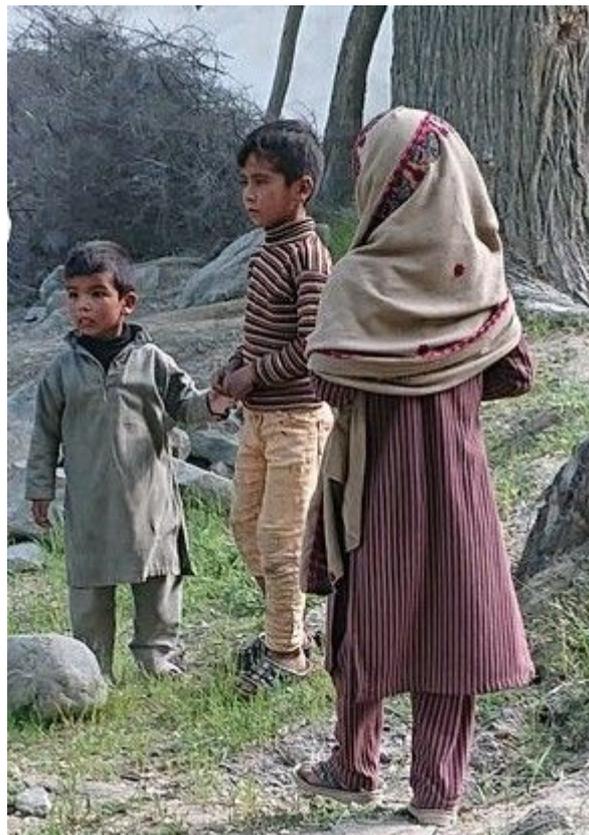
朝食をとり6時50分には下山開始。9時頃に最初のキャンプ地だったドムスンを通る。途中大きな広場でクリケットの大会があった。麓の村々からも続々と人がやってきていた。



11時過ぎフーシェのホテルに到着。昼食後K 7 (6934m)が見えるところまで行く。森さんが15分くらいと言ったけど1時間は歩いた。



何とか雲の切れ間からK7は見えた。
帰りは村の中心部を通り雑貨屋さんに寄って買い物をした。
たくさんの村の人が通りにおいて英語で挨拶してくれた。

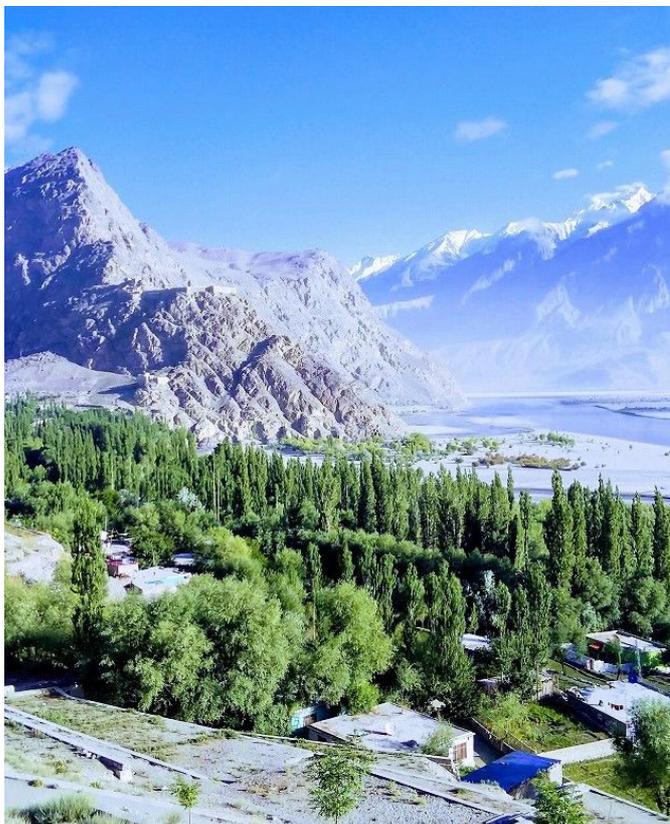


6月8日雨のち晴れ スカルド泊
5時前起床パッキング。7時過ぎスカルドへ向け出発。小雨が降っている。

いい天気なら荷物を積んでいるトラックの荷台に乗せてもらおうと思っていたのに
当てが外れ残念。



帰りがけ風の谷のナウシカのモデルになったという村の写真撮る。



12 時過ぎスカルドに着く。美味しいと評判のアフガン料理屋さんに行く。

人がいっぱい入口付近の席についたが、しばらく待って奥の座敷みたいな所に皆で移動した。ハンバーガーのパテみたいなものを油で揚げてそれをナンに挟んで食べた。昼食後スカルドの街でお土産の岩塩やドライフルーツ、パシュミールのショールを買う。2 時くらいに K2 ホテルに着き 1 週間振りにシャワーを浴びる。



6 月 9 日 晴れ 移動日 チラス泊

6 時前に起きる。久しぶりのベッドはよく眠れた。K2 ホテルのマットレスと枕はちょうどよい硬さで私好みだった。朝食前に庭を散歩する。

すいかずらとバラのいい香り、木になっているサクランボを少々失敬する。

スカルドからイスラマバードに移動するのだが、ここ 2,3 日天候が悪く飛行機が飛んでいないらしい。



仕方なく帰りは陸路での移動となった。飛行機なら1時間ちょっとで着くところを陸路だと丸2日はかかるらしい。

森さんはこの後スパンティークに登る予定なのでここにてお別れ。

私たち5人とガイド・運転手の7人でトヨタ・ハイエースに乗り込み8時ホテルを出発。狭い道をクラクション鳴らし追い越したり、追い越されながら進んでいく。

「日本人観光客谷底に転落5人全員死亡」という新聞記事がツネに頭をよぎる。ヒヤヒヤしながら窓の外を見ていた。頭をしこたま窓に打ちつけ、大切な眼鏡が歪んだ。

13時頃トイレ休憩も兼ねて昼食をとる。その後も車を走らせ17時にお茶休憩。日本ではいつもブラックのコーヒーばかりだが、甘いミルクティーが疲れた体に染みわたる。ナンガパルバット(8125m)が見えたので写真を撮るが、正直高い山ばかりでどの山がよく分からなかった。20時にチラスの『パノラマホテル』に着く。このホテルにはカレーの他にもメニューがあったのでサラダやスープ、中華風パスタ(焼きそばみたいのもの)を頼んだ。注文して45分くらいかかるとのことなので先にシャワーを浴びた。21時15分夕食。久しぶりに辛いものを食べたような気がした。

6月10日晴れ/曇り/のち雨 車移動日 イスラマバード泊

朝4時起床、さすがにまだ外は暗い。

4時30分前レストランへ行く。ゆで玉子、パン、ミルクティーの朝食。

5時30分出発。昨日と同じような山道を往く。

10時前突然車が止まる。どうやらこの先で土砂崩れらしい。

狭い道路は車と人で溢れかえる。泥で汚れたバイクを洗う人や、物売りの車、ヤギなどもいる。ガイドさんと浦添さんが様子を見に行く。

この旅ではとにかく「待つ」ということを教えられた。すべて思うままにできるわけではないという当たり前のことに気づかされた。人も時間も自然も。

あちらの言葉で「インシャーラ」というらしい。

暑い車の中でじっと待っていたら思ったよりも早く動き始めた。

15時前眺めのよいレストランで昼食。鶏を絞めるところから料理が始まる。

ここのカレーもまた違う感じで美味しかった。

17時過ぎまた車が止まる。いよいよもって部品を交換しないといけなくなったみたい。

日が暮れてきて段々暗くなっていったが車はひたすら走る。

夜中の2時やっとイスラマバードのホテルに着いた。

ガイドさんが手配してくれていたピザを食べ、この日はもうすぐに寝た。

6月11日晴れ イスラマバードのホテルから空港へ 出国

9時過ぎ起床。午前中はタクシーで街中のショッピングセンターに行く。

現地の人の生活用品が売ってあるので、その一端を垣間見れたようで興味深い。それにやっぱり買い物はテンションが上がる。

山で食べて美味しかったビスケットをお土産用に箱買いする。

その後百貨店みたいなところにも行く。イスラムの民族衣装をお土産に買った。

帰りは歩いてホテルに向かう。地方はもちろんだが首都にもあまり信号機がない。無秩序のようではちゃんとルールはあり、その証拠に事故はみなかった。

15時頃にはホテルに戻り、帰りの荷造りをする。17時には空港に到着。

無事出国ゲートも通り、時間もたっぷりあるのでお茶をする。

19時になったので搭乗口に移動して待っていると、雷のため飛行機が遅れているとアナウンスがはいる。その後もひたすら待つ。夜中の3時頃やっと飛行機に乗れた。

6月12日 北京空港にて一夜を明かす

あれだけ出発が遅れたので北京での乗り換えを心配していたが、案の定、私たちの乗る予定だった飛行機は飛び発った後だった。

広い空港を右往左往しながら何とか親切な係の方に誘導され明日乗る飛行機の手配をしてもらい北京市内のホテルへ泊まるためのバス乗り場まで連れていってもらった。

バスの車窓から見る北京の街はとても綺麗だった。

ホテルのフロントは同じように飛行機に乗りそびれた人たちで溢れかえっていた。

あてがわれた部屋は思いのほか綺麗だった。

ミネラルウォーターも置いてあるし、何よりシャワーのヘッドが動くのが嬉しかった。

夕食は中華料理のバイキング。お米が短い、辛くない、美味しかった。お湯でシャワーを浴びてドライヤーで髪を乾かして寝た。

6月13日 北京経由で無事日本へ

朝モーニングコールがある。8時30分の飛行機だが、バスは6時くらいにはホテルを出る。飛行機にも無事乗れて長い旅路の末やっと日本に帰ってこられた。大変なこともたくさんあったが、皆元気で帰ってこられて全ては笑い話になった。このメンバーで旅ができて本当によかった。

最後まで読んでくださりありがとうございました
(御厨美穂子)